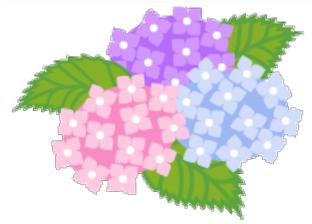




あじさい



平成29年2月号

校長 松島俊夫

給食週間

厳しい寒さが続きますが、花壇の球根や草木の小さな変化を見つけ、春の訪れへの期待がふくらむ季節となりました。この冬もインフルエンザの流行が心配されましたが、本校では罹患者も少なく、みんな元気に学校生活を送っています。マスク着用、手洗い、うがいの習慣が身についたおかげだと思います。ご家庭での感染拡大予防に向けた取組に感謝申し上げます。

さて、卒業式もあと1ヶ月となりました。6年生は小学校生活、ラストスパートです。在校生も心に残る美しい別れができるよう6年生を送る会など計画・準備しています。教職員一同、子どもたちの思いを大切に指導して参ります。ご協力をお願いいたします。

山本有三 「路傍の石」

2月の校長講話で栃木市出身の文豪 山本有三について紹介し、読み聞かせをしました。

「たったひとりしかない自分を、
たった一度しかない一生を、
ほんとうの生かさなかつたら、人間、
生まれてきたかいがないじゃないか。」



この言葉を知っていますか。これは山本有三作「路傍の石」のお話の中で、主人公吾一の担任の先生が話した言葉です。では、どんな場面でこの言葉が出てくるのか、読み聞かせをします。この言葉の意味を考えながら聞いてください。

(あらすじ) 「中学校へ行って、勉強したい。」それが吾一の夢だった。だが母親が内職だけで支える、家の暮らしは貧しく、中学校へ行くゆとりはなかった。それでも、あきらめきれない吾一は、友達を見返すため、命の危険を顧みない無茶な行動をしてしまう。その翌日、担任の次野先生が吾一に生きることの大切さ、自分を生かすことの大切さを語った。



1月最終週は、本校の給食週間でした。子どもたちは、給食に関する作品作り(給食標語・給食カルタ)を通して、学校給食に対する意識を高めました。

優秀作品を図書室前に展示しましたが、その中からいくつか紹介します。



- 給食をたくさん食べるとパワーアップ(4年生)
- 給食だ 早く食べたい いただきます(3年生)
- おいしいな ぼくは大好き 給食が(2年生)

6年生は一人一人がリクエスト献立を考えました。その中で阿久津幸翼さんの作った献立が3月に給食で提供されます。楽しみです。

栄養士さんによる食に関する授業



本校は、各学年、年に1時間ずつ食に関する授業を行っています。岩舟中の大竹栄養士さんが定期的に来校し、指導してくださっています。2月は、3年生が「郷土食を知ろう～しもつかれの秘密～」というテーマで授業を受けました。栃木県の産物や郷土料理、しもつかれの由来・作り方を学び、実際に大根とにんじんで「鬼おろし」を体験しました。子どもたちは、郷土料理しもつかれに親しみを感じたようです。

調理員さんへの感謝の会

全児童が調理員さん・栄養士さんに感謝の手紙を書きましたが、1月25日には調理員さんを招いてその手紙を贈呈しました。感謝して食べる意識が高まりました。



学校評価アンケートの結果について

先月号では、アンケート結果の概略を示し、よかった点について説明いたしました。今回は、課題として検討を要する項目について改善策等をご説明いたします。(数値は4点満点)

	設問	全体	教職員	児童	保護者
3	道徳心の育成	3.2	3.2	3.2	3.2
7	コミュニケーション力の育成	3.2	3.2	3.1	3.4
8	情報教育の推進	3.2	3.0	3.2	3.3
14	明るいまいさつ	3.2	2.8	3.5	3.2
24	家庭学習の習慣化	3.2	3.0	3.5	3.0
25	家庭読書の習慣化	2.8	2.5	3.1	2.6

○3 道徳心の育成

本校の児童は、きまりをよく守り、思いやりを持って穏やかに生活をしています。しかしながら、時には、言葉遣いが荒くなり、友達のことを傷つけてしまうこともあるようです。今後は、道徳の授業を工夫し、家庭と連携を図りながら児童の心を耕し、言葉遣いなどをより好ましいものに改善していきたいと思ひます。

○7 コミュニケーション力の育成

本校では、伝え合う力を育成するための授業研究に取り組んできました。ペア学習やグループ学習を取り入れ、児童同士が学び合う形ができてきました。今後は、さらに書く力を伸ばし、自分の考えを持って話し合いに参加できるようにしていきたいです。

○8 情報教育の推進

本校は各教室に大型テレビ、ノートパソコン、書画カメラが設置されており、担任は積極的に活用して視覚に訴えた分かりやすい授業に努めています。今後は、実態に応じて児童がパソコンを使って調べたり表現したりする活動を増やし、IT機器をうまく使いこなせる力をつけていきたいと思ひます。

○14 明るいまいさつ

地域の方に挨拶について褒められることがありますが、個人差があります。児童会を中心に、朝のあいさつ運動を盛り上げ、児童同士で積極的に声を掛け合える雰囲気を作りたいと思ひます。

○24 家庭読書の習慣化

今年度は親子読書の日を2回実施しましたが、来年度は回数を増やしたいと考えています。今後ともご協力お願いいたします。学校評議員さんの声を紹介します。「幼児期から読み聞かせなどで本に親しんでいる子は、入学しても本や文字に対する抵抗感が少なく、家でも好んで読書する傾向がある。」

○25 家庭学習の習慣化

授業と結びついた宿題を出したり、自主学習を勧めたりして、家庭学習の習慣化は図られてきましたが、個人差があるようです。ご家庭と連携を図りながら進めていきたいと思ひます。

※学校評価に関してご質問やご要望がございましたら、2月22日(水)の学級懇談会やPTA全体委員会で話題に出していただければと思ひます。よろしくお祈りします。

学校支援ボランティアさんに感謝!

家庭科ボランティア (5年)



家庭科のエプロン作りで、アイロンがけやミシン縫いを手伝っていただき、上手にできました。

障がいの疑似体験・車いす体験 (4年)



体に障害がある方々から体験談を直に聞き、車椅子やアイマスク体験をしました。障害も持ちながらスポーツや仕事に活躍されている話を聞き、みんな尊敬の眼差しでした。

読み聞かせボランティア (全学年)



今年もアリスの皆さんが朝読書の時間に読み聞かせをしてくださいました。いろいろな本に出会い、読書好きな子が増えています。

休日ボランティア (希望者)



2月は野鳥に詳しい方を招いて、野鳥観察・巣箱作りをしました。休日ボランティアの皆さんには今年もいろいろな体験をさせていただきました。

放課後教室 (1・2・3年)



お二人の先生に7月から2月にかけて水曜日に学習支援をしていただきました。一人一人にプリントを準備し、丁寧に教えていただきました。